

一等水準点検測成果集録

第三卷

昭和32年3月

地理調査所

一等水準点検測成果集録

第三卷

昭和32年3月

地理調査所

一等水準点検測成果集録(第3巻)正誤表

場	所	誤	正
附図3枚目	3 自至 空知支庁岩見沢市 膽振支庁苫小牧市	空知郡栗山町	夕張郡栗山町
附図4枚目	5 自至 群馬県高崎市 新潟県柏崎市	利根郡月夜野村	利根郡月夜野町
附図6枚目	Ⅱ 自至 和歌山県有田町 和歌山県西脇町		四八八八の下に下津町を入れる 四八八五の下の下田町を削除する 四八八四の下に海南市を入れる 二七七の下に海草郡西脇町を入れる
	”		
	”		
	”		
附図6枚目	VII 自至 島根県出雲市 島根県穴道町	島根県穴道町	島根県穴道町
	”	八束郡穴道町	八束郡穴道町
附図7枚目	XI 大阪市内		二二三の下に天王寺区を入れる
	”	1951年 2月～3月	1950年 10月～11月

記

本集録は、昭和30年度に、当所が行った一等水準点検測の結果を集録図示したものである。
なお受託事業の東京都内水準点検測結果については、東京都土木技術研究所において成果を
発表されるので、本集録には省略した。

昭和32年3月

地理調査所

一等水準点検測成果集録

第 三 卷

目 次

1. 観測器械及び観測法	1
(1) 観 測 器 械	
(2) 観 測 法	
2. 検測区域及び期間	2
3. 変動図の説明	2
附図 一等水準線路図	
一等水準点変動図	

1. 観測器械及び観測法

(1) 観測器械

a. 水準儀

観測年度	水準儀名称	望遠鏡の倍率	気泡管感度
大正13年(1924)以前	Carl Bamberg 製一等水準儀(Y型)	36倍	4~5"/2mm
大正14年(1925)以後	Carl Zeiss 製III型精密水準儀	36倍	10~12"/2mm (合致式)
昭和28年(1953)以降	Carl Zeiss 製III型精密水準儀	36倍	"
	Wild 製N III型精密水準儀	42倍	6/2mm (合致式)

b. 水準標尺

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
大正13年以前	Carl Bamberg 製水準標尺	3m	露国産自然乾燥赤楊	木部の表面に直接5mm毎に目盛る
大正14年以後	Carl Zeiss 製精密水準標尺	3m	インパール(巾2.6cm長さ3mのものを20kgの張力で緊張してある)	インパール帯の中央線の両側に2.5mmの差をもつて5mm毎に目盛る
昭和28年以降	Carl Zeiss 製精密水準標尺	3m	全上	全上
	Wild 製精密水準標尺	3m	全上	全上5mmの差をもつて10mm毎に目盛る

(2) 観測法

観測に当つては、地上によく踏込んだ鉄製標尺台上に標尺を附属水準器によつて、鉛直に立て、水準儀は両標尺間の中央に設置し、後視-前視、更に前視-後視の順序に観測を行う。

Carl Bamberg 製一等水準儀においては、第一回視準は視野における標尺の上方分割を、第二回は下方分割を、整準螺子によつて十字系の中央に導いて、これに応ずる水準器の気泡分割を読みとる。

Carl Zeiss製及びWild製精密水準儀においては、第一回視準は視野における標尺の左側分割を、第二回は右側分割を測微装置によつて楔形十字系の中央に導き、プリズム内の水準器気泡の影像が合致したとき、分割を正挾して、測微鼓胴を読みとる。

水準儀と標尺との距離は、平地では通常40m(Wild N IIIでは65m)以内とし、各水準点間(約2km)は往復測量を行つて、その出合差は、3mm以内とする。又水準線が閉合しているときは、その閉合差は、 $1.5\text{mm}\sqrt{S}$ (Sは片道の距離-km単位)以内とする。なお木製標尺においては、毎日作業の前後に

鋼鉄製 1m 基準尺と比較し、「インパール」製標尺においては、定期的に「インパール」製 1m 標尺（副原器と直接比較したもの）と比較して、その長さを検定し、観測値に所要の補正を行う。

2. 検測区域及び期間

「検測区域及び期間一覧表」のとおり。

3. 水準点変動図の説明

- (1) 変動量は、凡て水準点間の新観測比高から、旧観測比高を減じた値を、仮不動点を基準として累加したものである。
- (2) 変動図中、点線は再設・傾斜改埋等のため比較不能のものを示す。

検測区域及び期間一覽表

昭和30年度(1955)

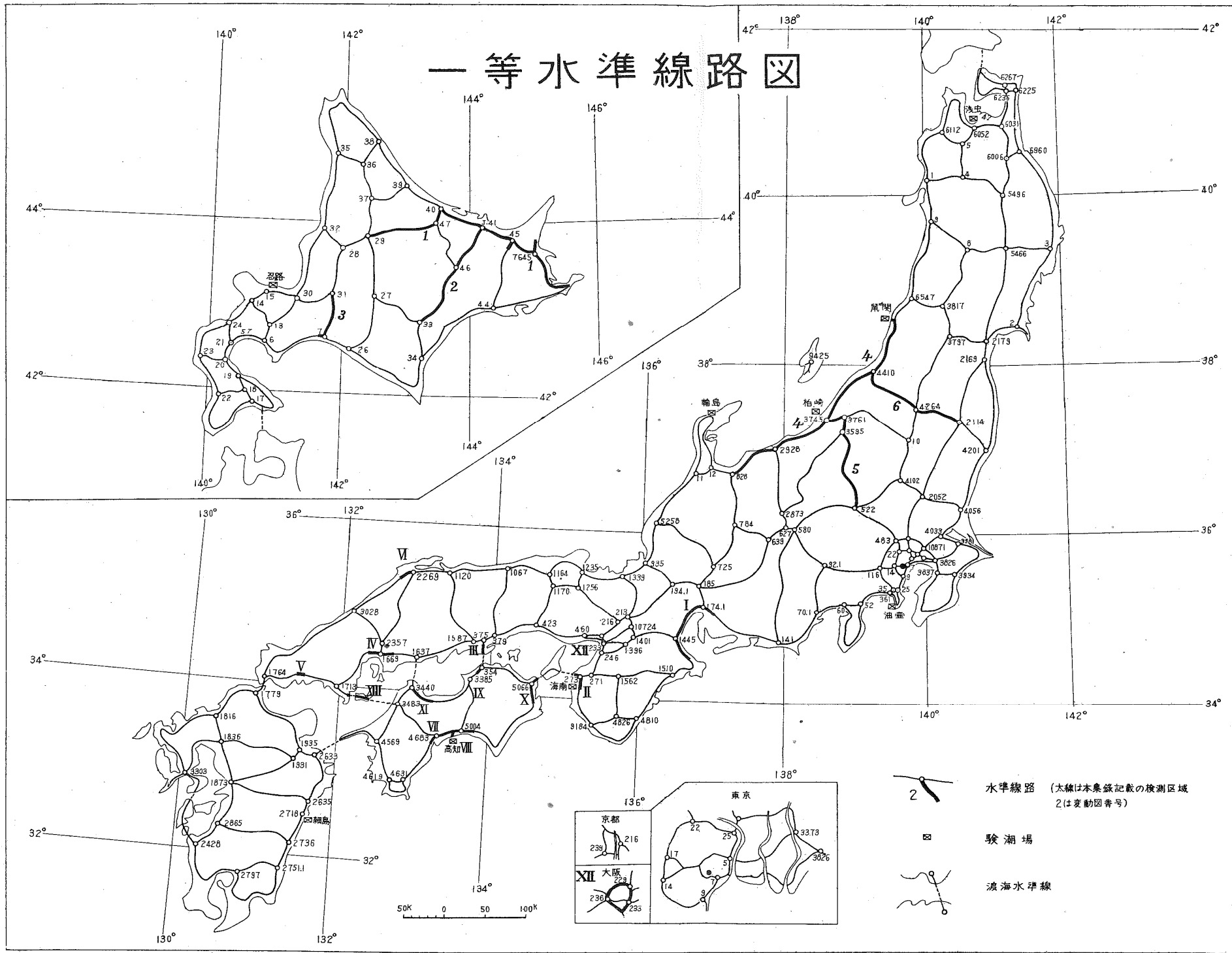
a 当 所 事 業




変動区番号	検 測 区 域	不動とした水準点番号	杆 数	検 測 期 間
1	自 北海道神楽町 B.M. J. 29 至 北海道根室町BM験潮場附10	北海道塩谷村 忍路験潮場固定点	401	自 昭和30年6月2日 至 " 年9月2日
2	自 北海道網走市 B.M. J. 41 至 北海道帯広市 B.M. J. 33	全 上	192	自 昭和30年6月2日 至 " 年8月29日
3	自 北海道岩見沢市 B.M. 8539 至 北海道苫小牧市 B.M. 7246	全 上	60	自 昭和30年6月5日 至 " 年7月13日 一部昭和28年及29年
4	自 富山県富山市 B.M. J. 828 至 山形県温海町 B.M. 6517	富山県富山市 B.M. J. 828	369	自 昭和30年7月22日 至 " 年9月17日
5	自 群馬県高崎市 B.M. J. 522 至 新潟県柏崎市 B.M. J. 3745	群馬県高崎市 B.M. J. 522	202	自 昭和30年10月5日 至 " 年11月24日
6	自 福島県郡山市 B.M. J. 2114 至 新潟県新発田市 B.M. J. 4410	福島県郡山市 B.M. J. 2114	176	自 昭和30年10月10日 至 " 年11月26日

b 受 託 事 業

I	自 愛知県豊明村 B.M. F. 39 至 三重県松阪市 B.M. 1490	愛知県豊明村 B.M. F. 39	108	自 昭和30年10月6日 至 昭和31年3月31日
II	自 和歌山県有田町 B.M. 4889 至 和歌山県西脇町 B.M. 277	和歌山県海南市 海南験潮場固定点	35	自 昭和30年10月3日 至 " 年10月30日
III	自 岡山県倉敷市 B.M. 370 至 岡山県児島市 B.M. 357	岡山県倉敷市 B.M. 370	30	自 昭和30年10月1日 至 " 年11月30日
IV	自 広島県広島市 B.M. 1671 至 B.M. 1666	広島県広島市 B.M. 1671	10	自 昭和30年11月11日 至 " 年12月15日
V	自 山口県防府市 B.M. 1723 至 B.M. 1730	山口県防府市 B.M. 1723	14	自 昭和30年12月2日 至 " 年12月15日
VI	自 島根県宍道町 B.M. J. 2269 至 島根県出雲市 B.M. 2972	島根県宍道町 B.M. J. 2269	14	自 昭和31年3月5日 至 " 年3月15日
VII	自 高知県高知市高知験潮場固定点 至 高知県須崎市 B.M. 4672	高知県高知市 高知験潮場固定点	65	自 昭和30年11月1日
VIII	自 高知県高知市 B.M. 5003 至 高知県夜須町 B.M. 5173	全 上	22	至 昭和30年12月15日
IX	自 香川県坂出市 B.M. J. 354 至 香川県高瀬町 B.M. 3390	香川県坂出市 B.M. 354	22	自 昭和30年10月4日 至 " 年11月10日
X	自 徳島県富岡町 B.M. 5084 至 徳島県鳴門市 B.M. 302	徳島県富岡町 B.M. 5084	42	自 昭和30年10月11日 至 " 年11月13日
XI	自 愛媛県西條市 B.M. 3423 至 愛媛県今治市 B.M. J. 3440	愛媛県西條市 B.M. 3423	34	自 昭和30年10月6日 至 " 年11月1日
XII	大阪市内	毛馬水準元標	27	自 昭和31年2月13日 至 " 年3月15日
	東京都内		224	自 昭和31年2月13日 至 " 年3月19日
XIII	自 山口県玖珂郡大畠村 無号 II 至 山口県大島郡東和町 B.M. 3487	山口県玖珂郡大畠村 無号 II	42	自 昭和31年2月21日 至 " 年3月23日

一等水準線路図



-  水準線路 (太線は本集録記載の検測区域 2は変動箇所)
-  驗潮場
-  浪海水準線

自空知支庁岩見沢市 至 膽振支庁苫小牧市

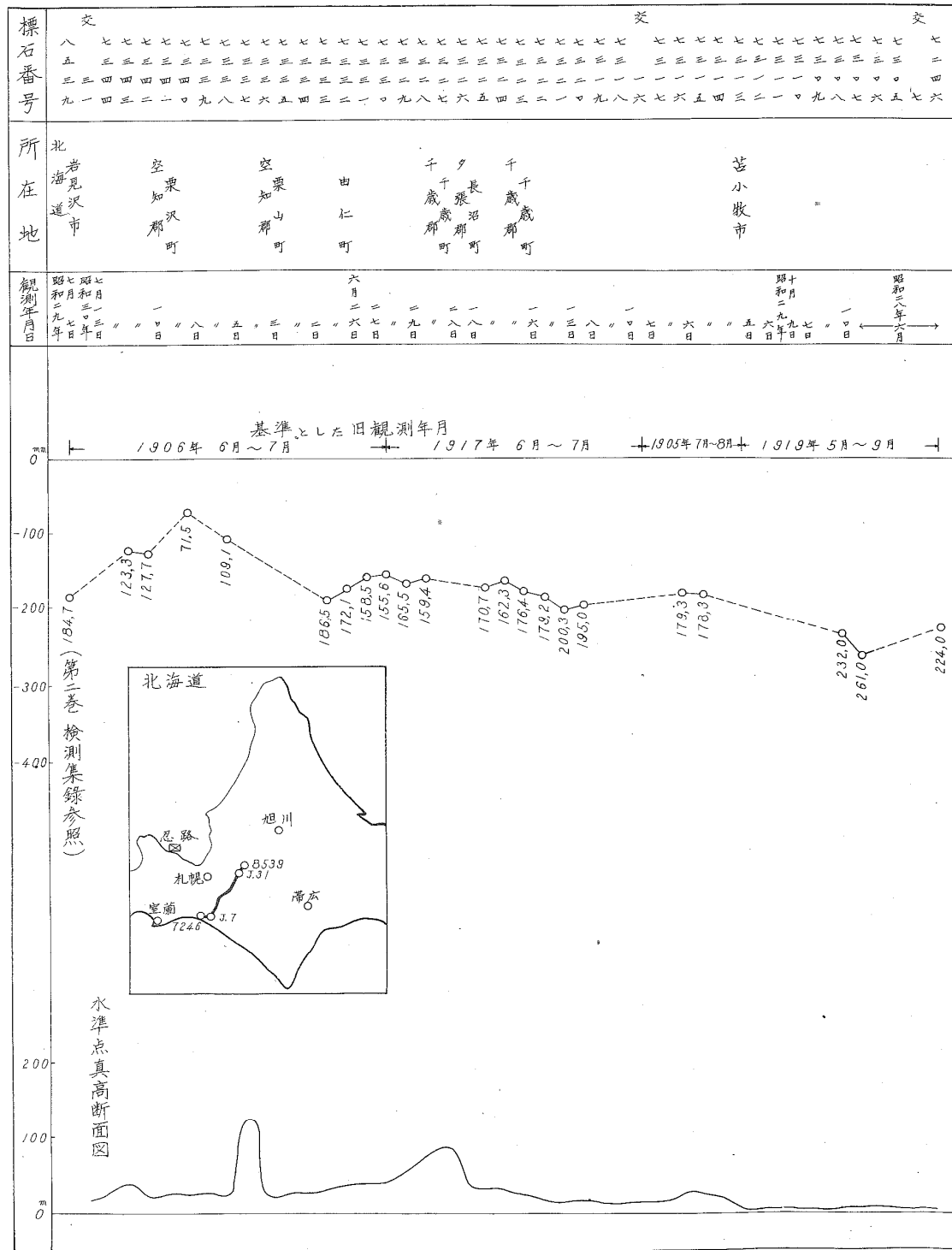
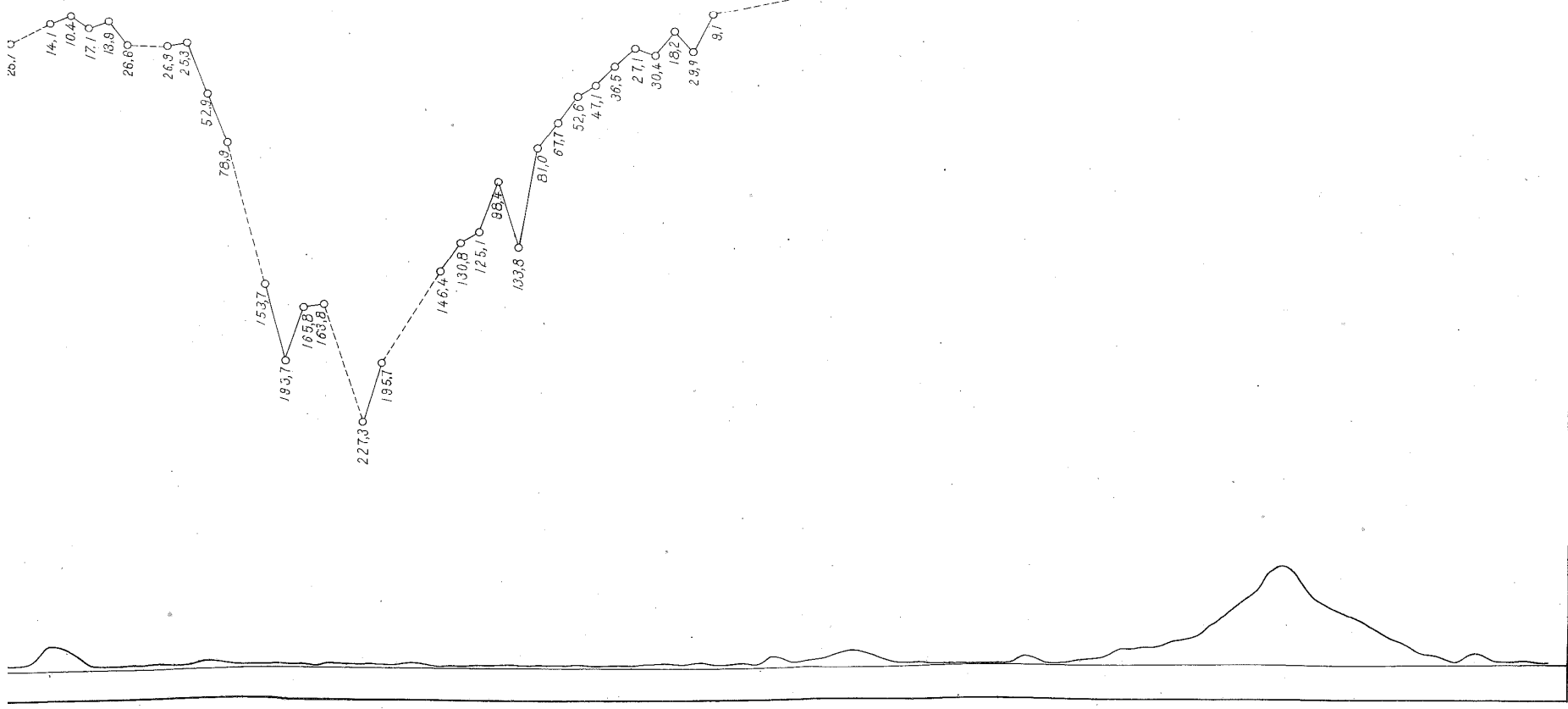
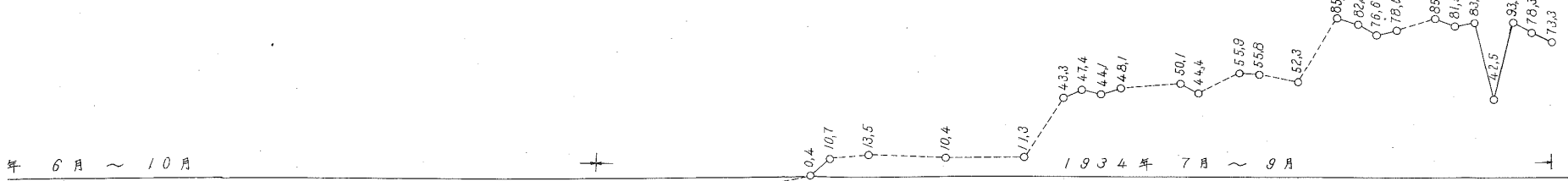


Table with 7 columns of numbers, likely representing a grid or coordinate system for the data points.

Location labels in Japanese: 弥彦村, 若里村, 巻町, 赤塚村, 新潟市, 北蒲原郡, 佐々木村, 新発田市, 北蒲原郡, 加治川村, 中条町, 黒川村, 岩手郡, 神林村, 村上市, 岩手郡, 朝日村, 山北村, 山西郡, 温海郡.

Month labels: 八月, 九月, 十月, 十一月, 十二月.



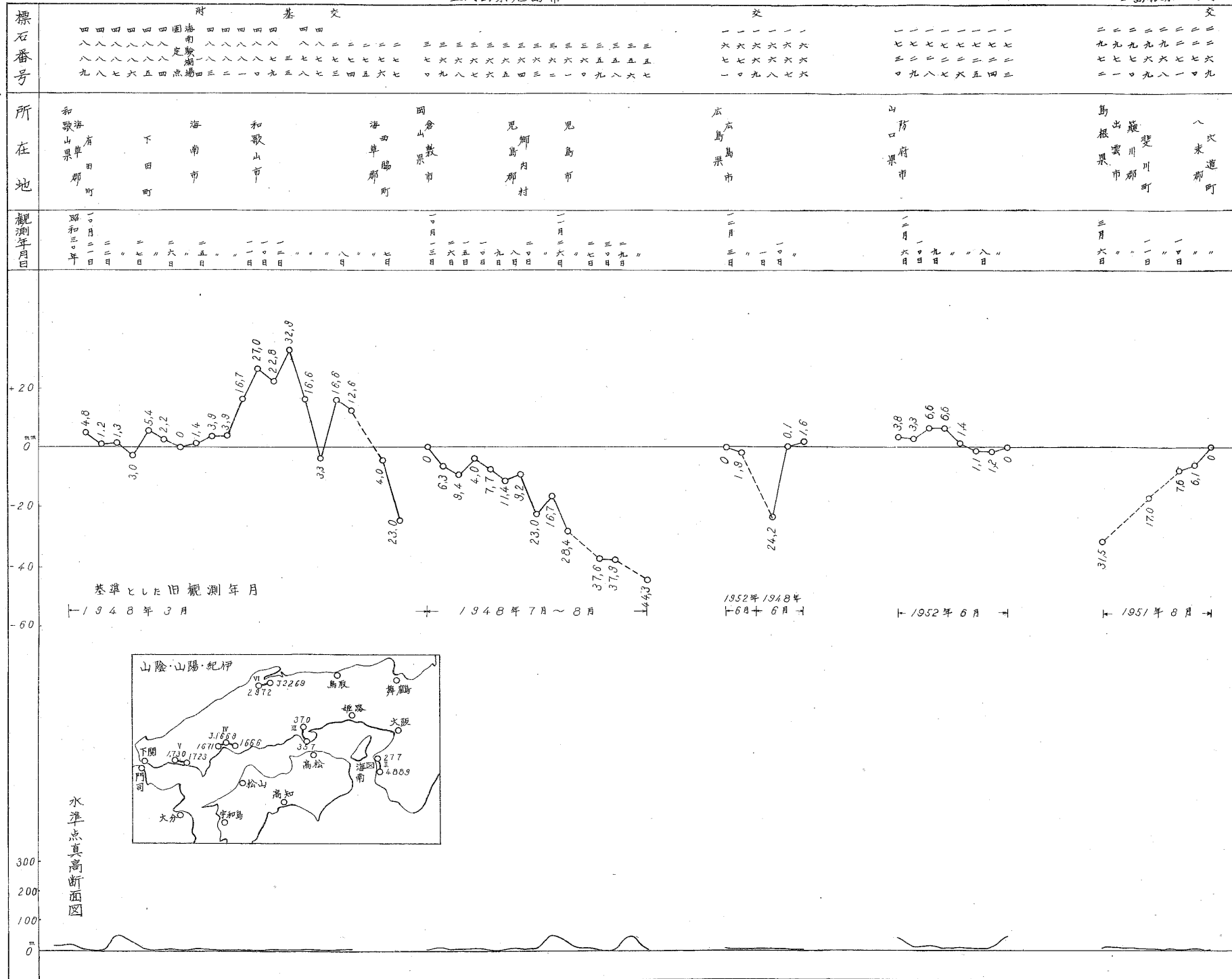
II 自和歌山県有田町 至和歌山県西脇町

III 自岡山県倉敷市 至岡山県児島市

IV 広島県広島市内

V 山口県防府市内

VI 自島根県出雲市 至島根県宍道町

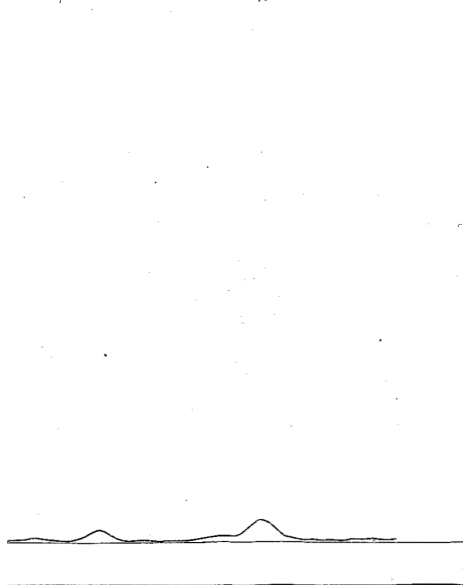
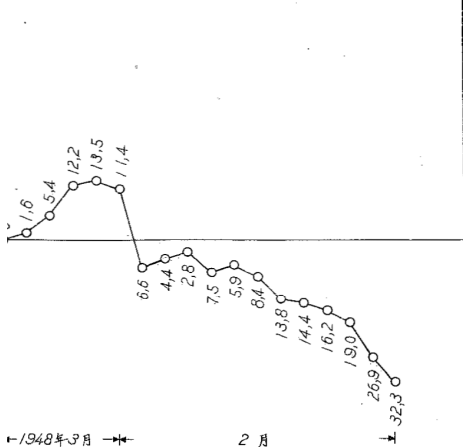


自愛媛県西条市至愛媛県今治市

Table with 12 columns and 2 rows of numerical data points.

Table with 4 columns listing locations: 西条市, 今治市, etc.

Table with 12 columns and 1 row of observation dates.

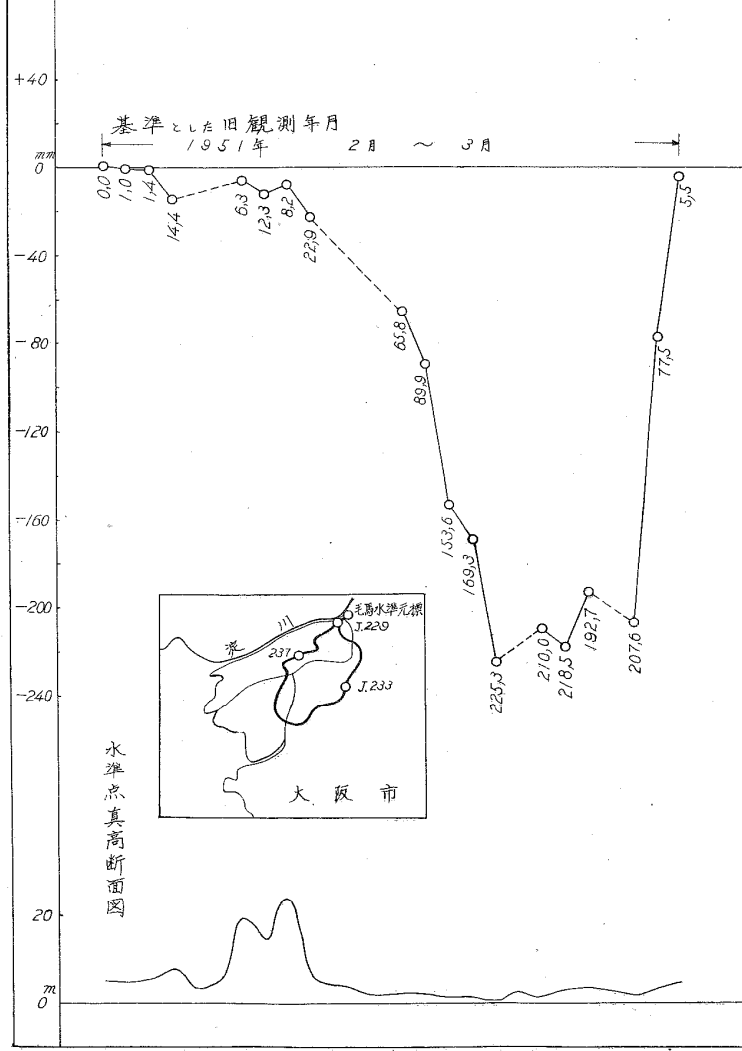


XII 大阪市内

Table with 12 columns listing station numbers and names for Osaka.

Table with 12 columns listing locations within Osaka.

Table with 12 columns and 1 row of observation dates for Osaka.



XIII 自山口県大島村至山口県東和町

Table with 12 columns and 2 rows of numerical data points for Yamaguchi.

Table with 12 columns listing locations in Yamaguchi.

Table with 12 columns and 1 row of observation dates for Yamaguchi.

